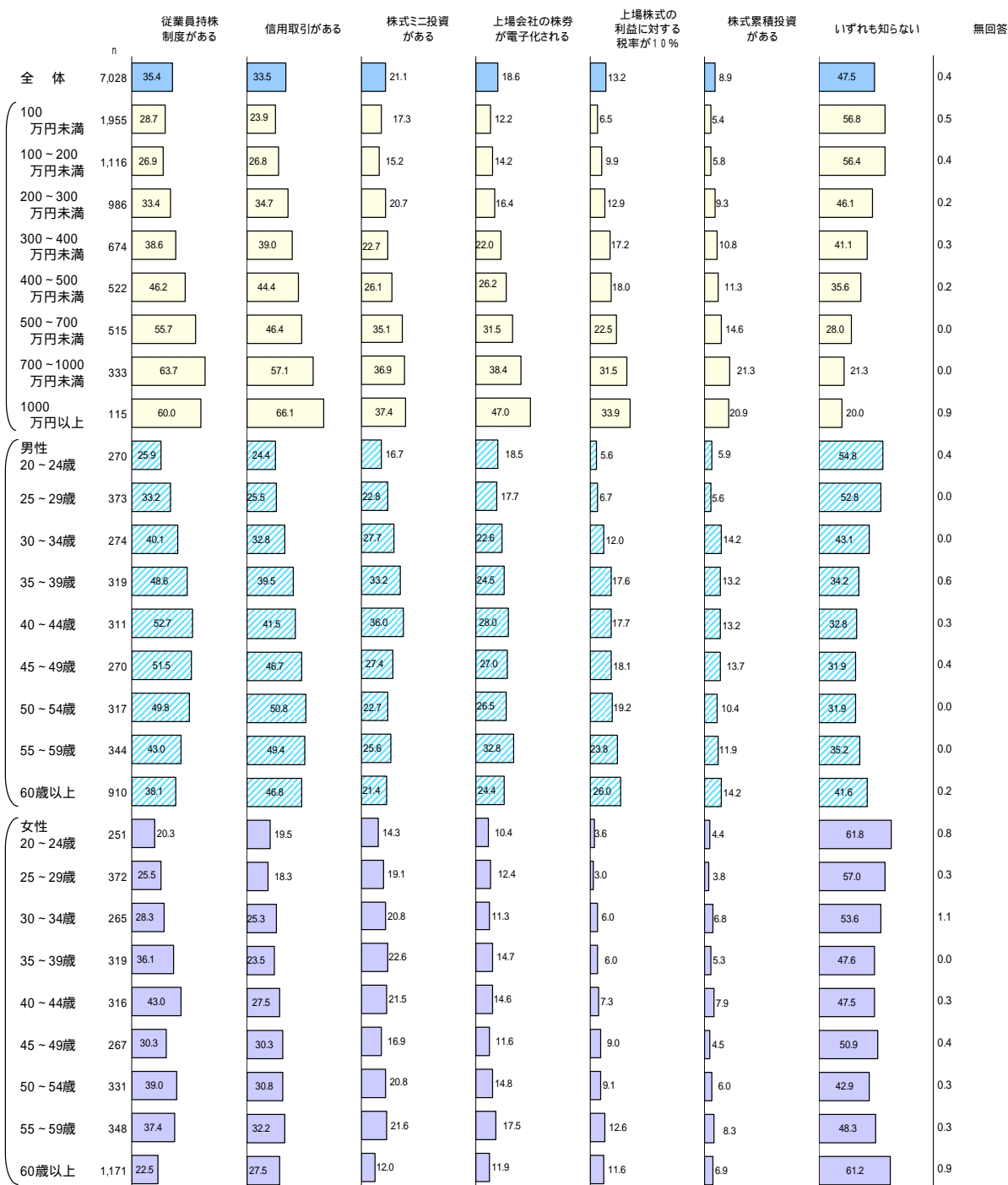


(1) 株式制度の認知状況（複数回答）（問 14）

株式についての制度や動きの認知状況をみると、最も高かったのは「いずれも知らない」で 47.5%。知っているものの中では、「従業員持株制度（があることを知っている）」が 35.4%であり、以下、「信用取引」（33.5%）、「株式ミニ投資」（21.1%）が続く。いずれの制度も、年収が多いほど認知度が高い傾向がみられる。

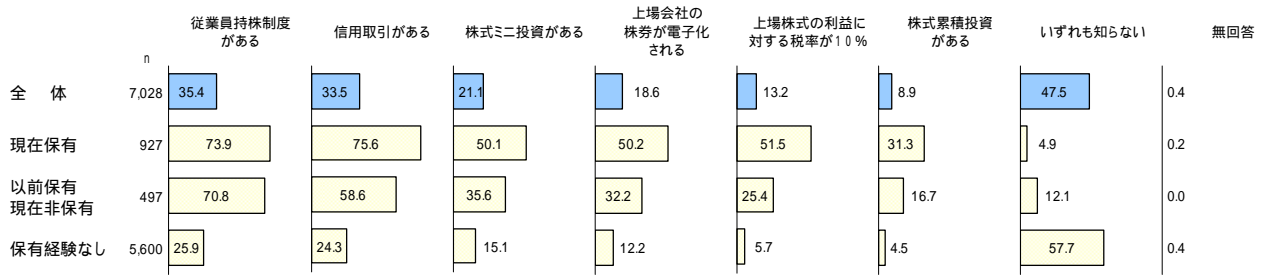
性・年代別にみると、男性は年代が上がるほど認知率が上がる傾向がみられ、「株式ミニ投資」と「従業員持株制度」の認知率が 30～40 代で高いのが目立つ。女性は男性に比べると年代ごとの差が少ない。

図表 4-1 株式制度の認知状況（複数回答）（問 14） / 年収、性・年代別



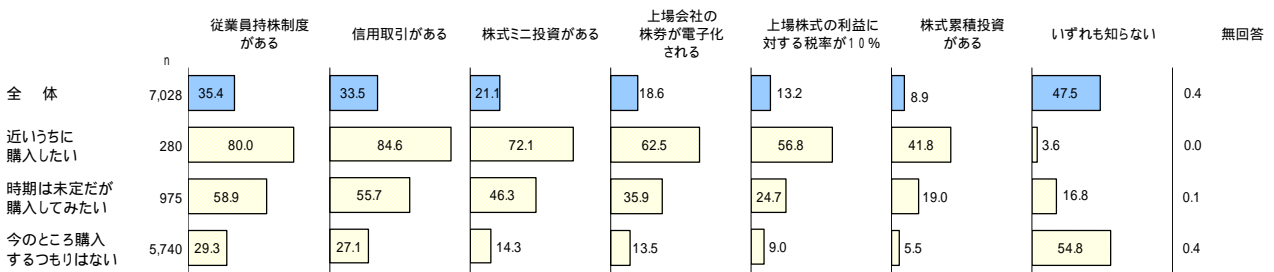
株式の保有状況（問 16）との関係でみると、現在保有者は、「従業員持株制度（があることを知っている）」、「信用取引」が7割強、「株式ミニ投資」、「上場会社の株券が電子化される」、「上場株式の利益に対する税率が10%」が5割、「株式累積投資」の認知が最も低く31.3%である。一方、保有経験がない人は57.7%が「いずれも知らない」と答えている。

図表 4-2 株式制度の認知状況（複数回答）（問 14） / 株式の保有状況別（問 16）



株式の購入意向（問 15）との関係でみると、購入意向が高い人ほど、株式制度や動きについての認知度が高い。「今のところ購入するつもりはない」人の54.8%は「いずれも知らない」と答えている。

図表 4-3 株式制度の認知状況（複数回答）（問 14） / 株式の購入意向別（問 15）

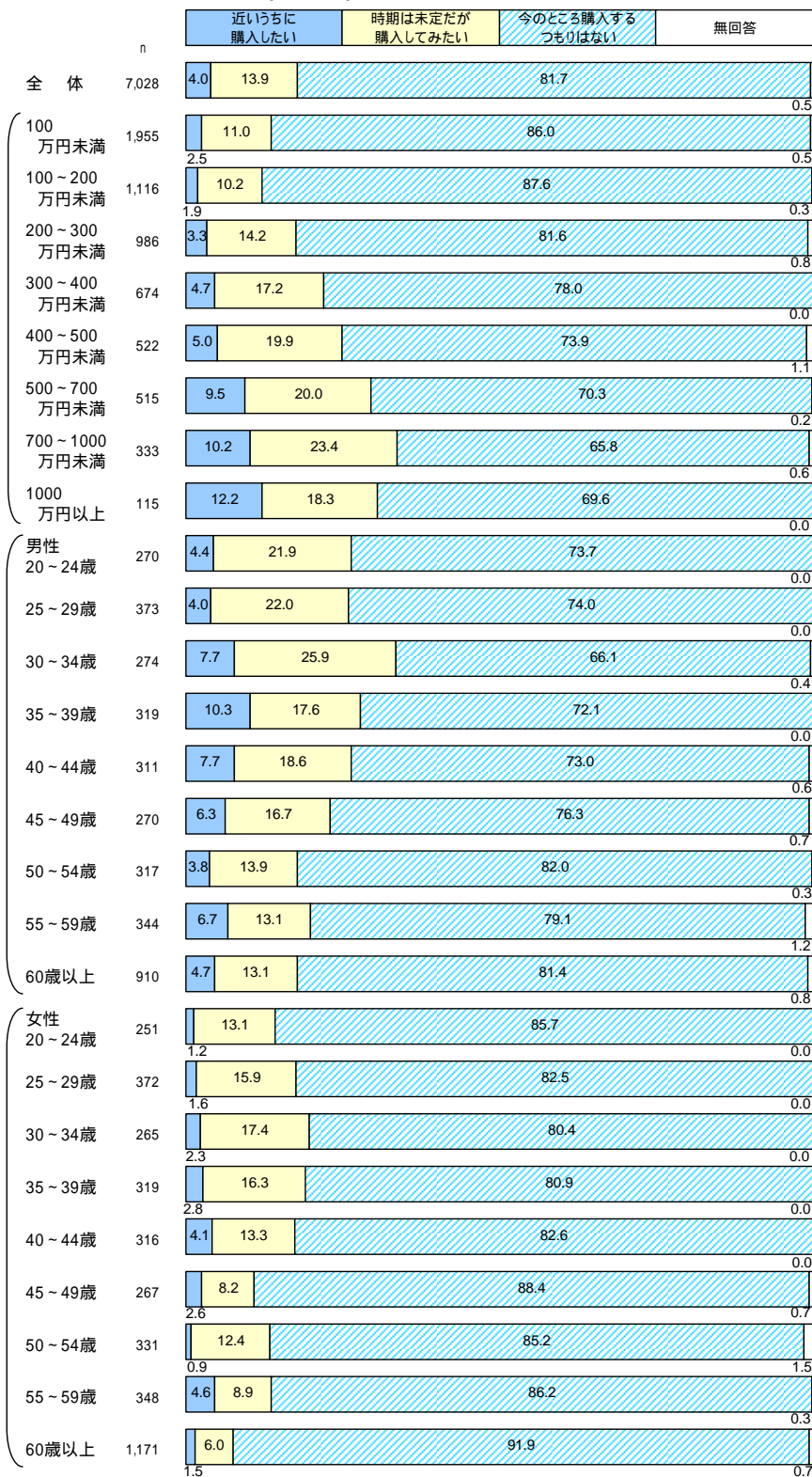


(2) 株式の購入意向 (問 15)

株式の購入意向については「今のところ購入するつもりはない」が81.7%と大部分を占める。年収が多いほど「近いうちに購入したい」が高い。「時期は未定だが購入してみたい」も1,000万円未満までは同様の傾向を示す。

性・年代別でみると、「近いうちに購入したい」が最も高いのは男性35～39歳で10.3%である。特に男性の若い年代ほど「時期は未定だが近いうちに購入したい」が高い傾向がみられる。最も高いのは男性30～34歳の25.9%である。

図表 4-4 株式の購入意向 (問 15) / 年収、性・年代別



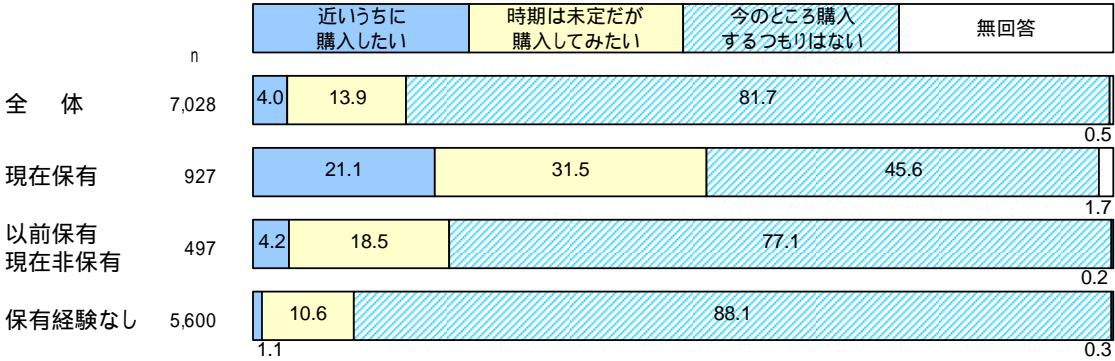
地域別にみると、「近いうちに購入したい」割合は、首都圏で6.4%、東海では5.6%と、他の地域に比べると若干高い。逆に北海道では、「今のところ購入するつもりはない」が93.5%と非常に高い。

図表 4-5 株式の購入意向（問 15） / 地域・都市規模別



株式の保有状況（問 16）との関係で見ると、現在保有者は「近いうちに購入したい」が 21.1%と高く、「時期は未定だが購入してみたい」と合わせると半数を超える。保有経験がない人は「今のところ購入するつもりはない」が 88.1%と 9 割近くに及んでいる。

図表 4-6 株式の購入意向（問 15） / 株式の保有状況別（問 16）

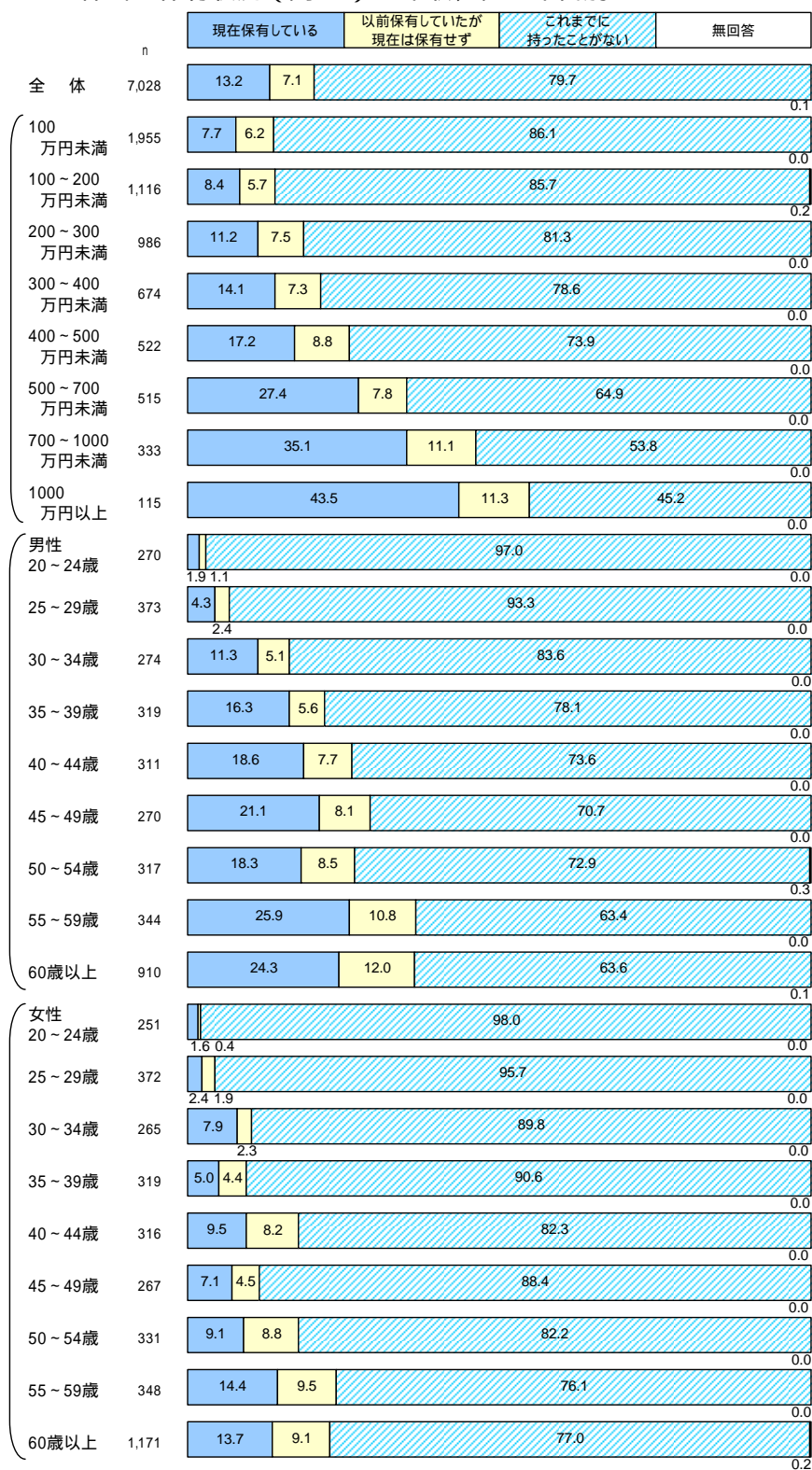


(3) 株式の保有状況 (問 16)

株式の保有状況を見ると、「現在持っている」が13.2%、「以前持っていたが、現在は持っていない」が7.1%で、両者を合わせると約2割である。現在保有率13.2%を平成12年国勢調査の20歳以上人数(100,736,618人)に乗じると、株式を現在保有している20歳以上の人は約1,329万人と推計できる。

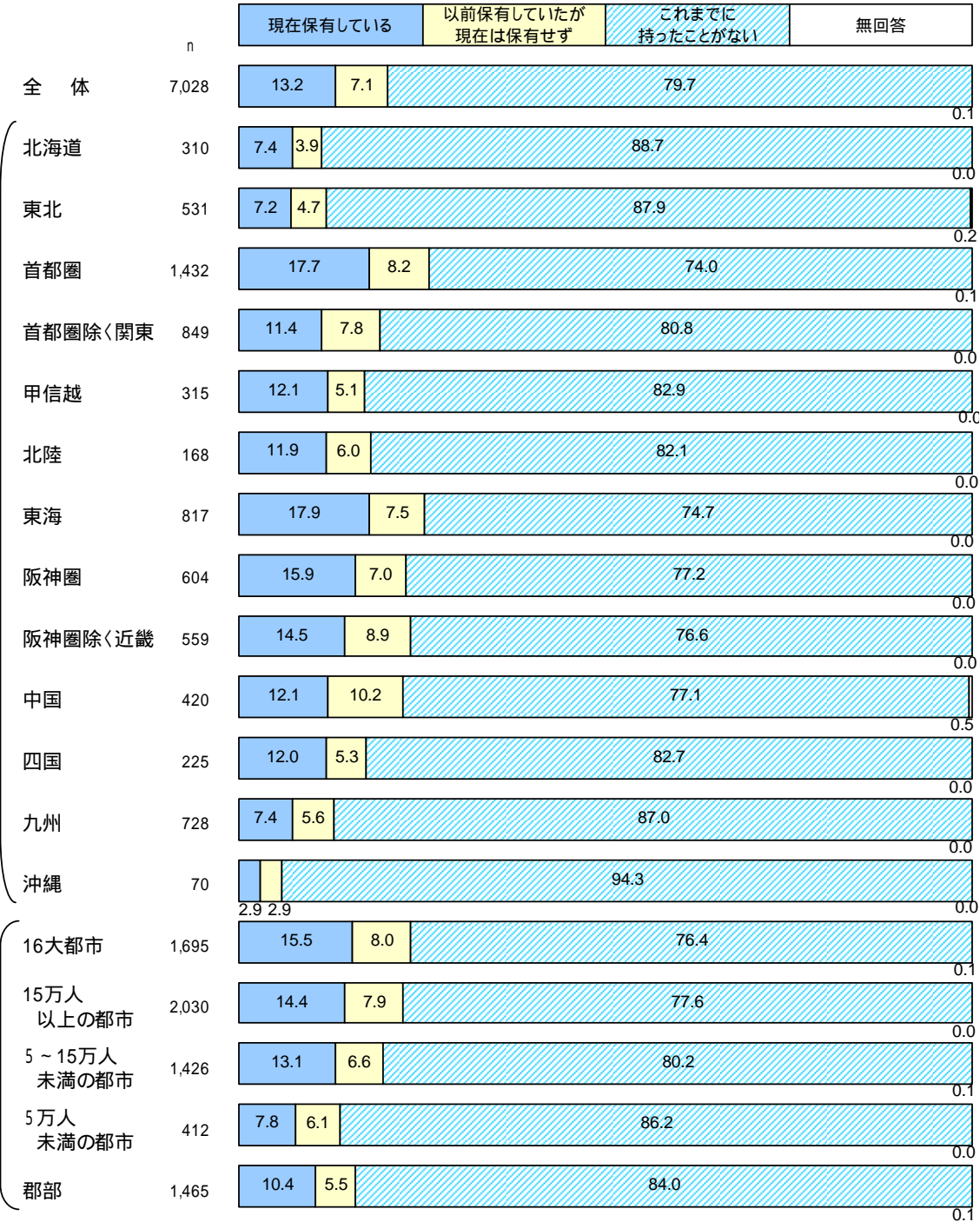
年収が多いほど、また、年代が高いほど現在保有率が高いが、女性は男性に比べると保有率は低い。

図表 4-7 株式の保有状況 (問 16) / 年収、性・年代別



地域別で見ると、首都圏、東海、阪神圏、近畿などで現在保有率が高い傾向がみられ、北海道、東北、九州、沖縄では現在保有率が低い。

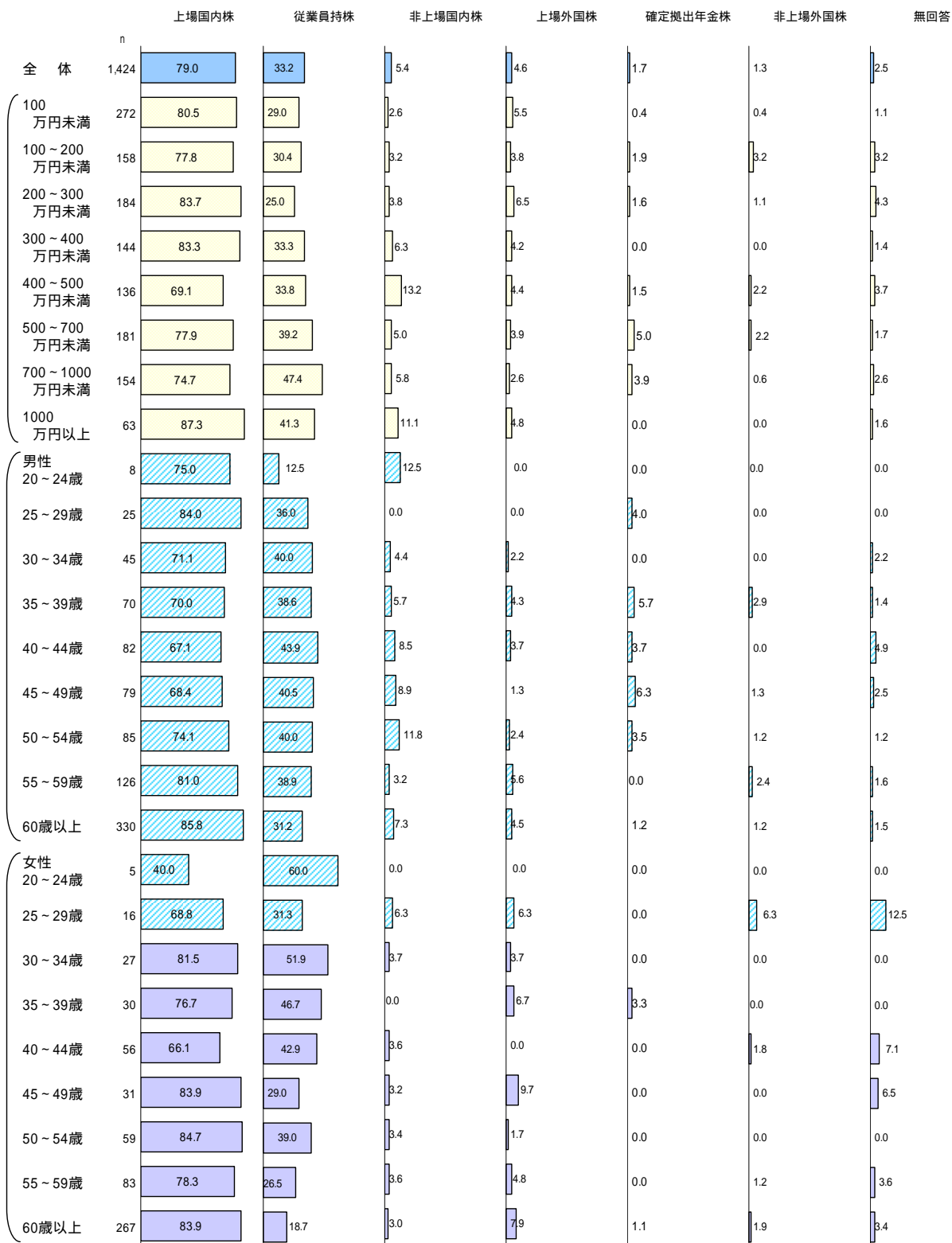
図表 4-8 株式の保有状況（問 16） / 地域・都市規模別



(4) 現在あるいは以前保有の株式種類(複数回答)(問16-1)

現在持っている、あるいは以前持っていた株式の種類についてみると、「国内の証券取引所に上場されている国内株」が79.0%と最も高く、「従業員持株制度で管理されている株式」(33.2%)が続く。それ以外の商品はいずれも5%台以下である。

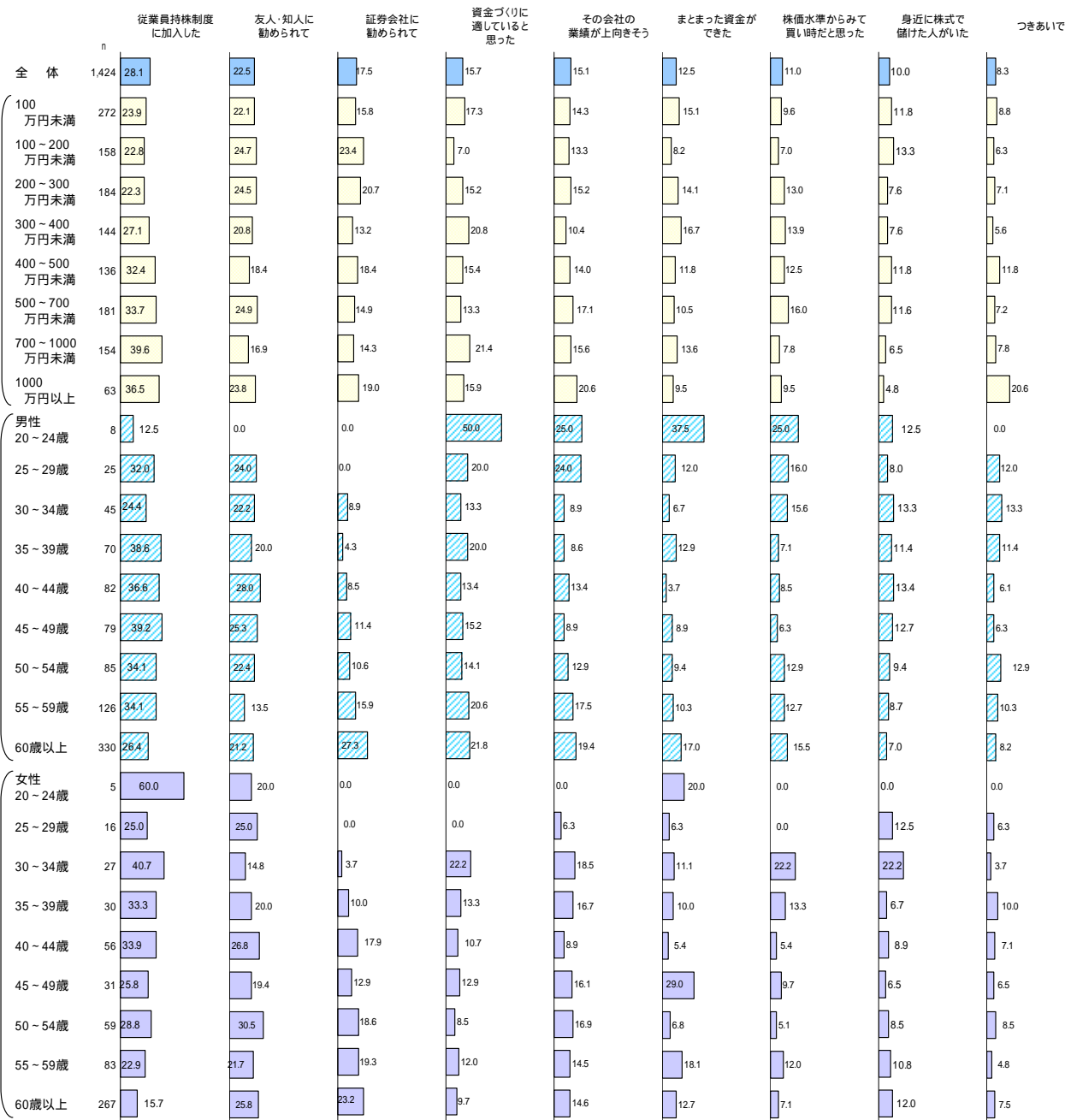
図表 4-9 現在あるいは以前保有の株式種類(複数回答)(問16-1) / 年収、性・年代別

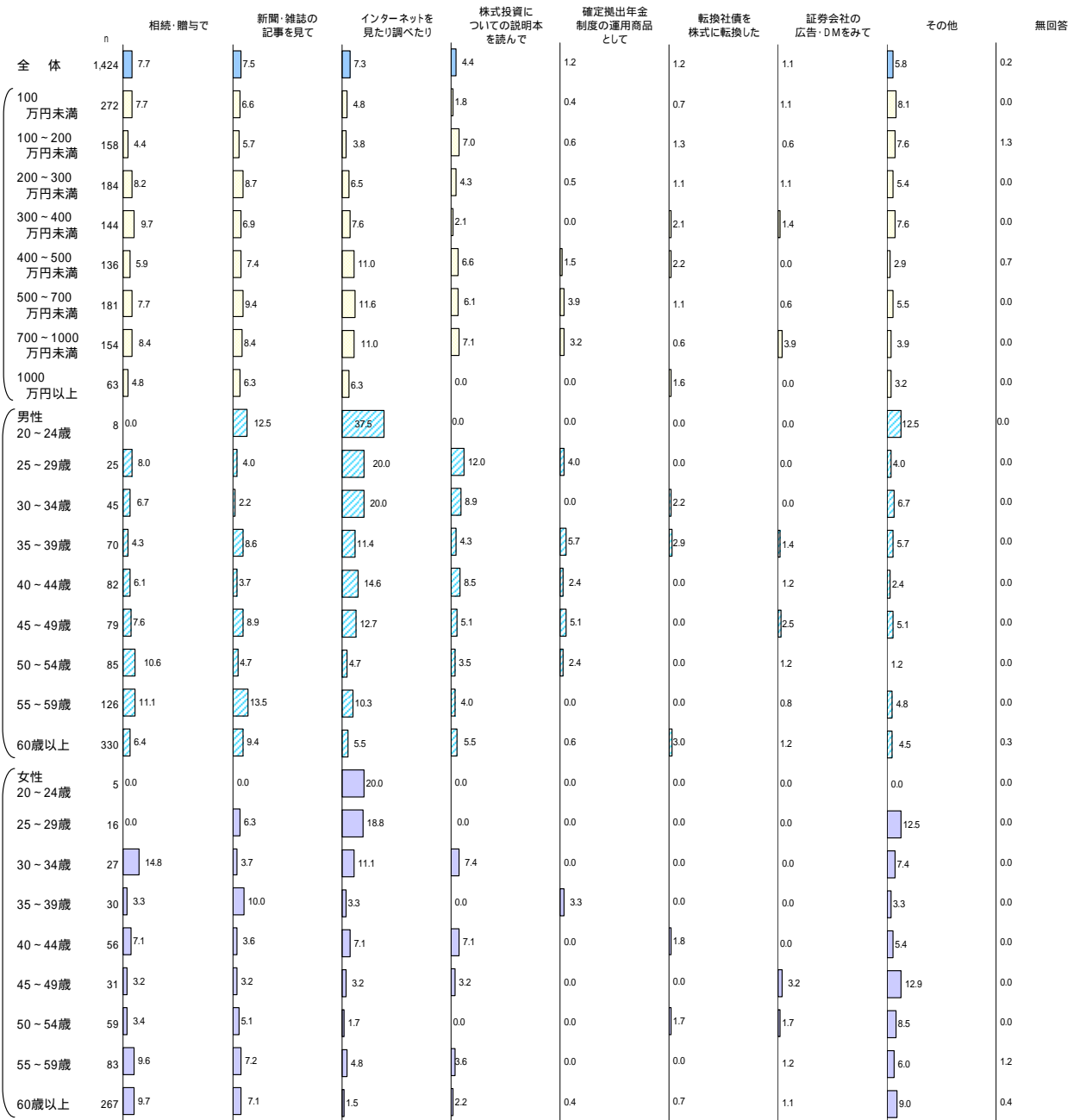


(5) 株式の購入(保有)のきっかけ(複数回答)(問17)

株式の購入(保有)のきっかけで最も高いものは、「従業員持株制度に加入したので」(28.1%)であり、以下、「友人・知人に勧められて」(22.5%)、「証券会社に勧められて」(17.5%)と人から勧められたものが続き、「資金づくりに適していると思ったから」(15.7%)、「その会社の業績が上向きそうだから」(15.1%)等と続く。性・年代別でみると、男女とも60歳以上は「証券会社に勧められて」が他の年代に比べて高い。

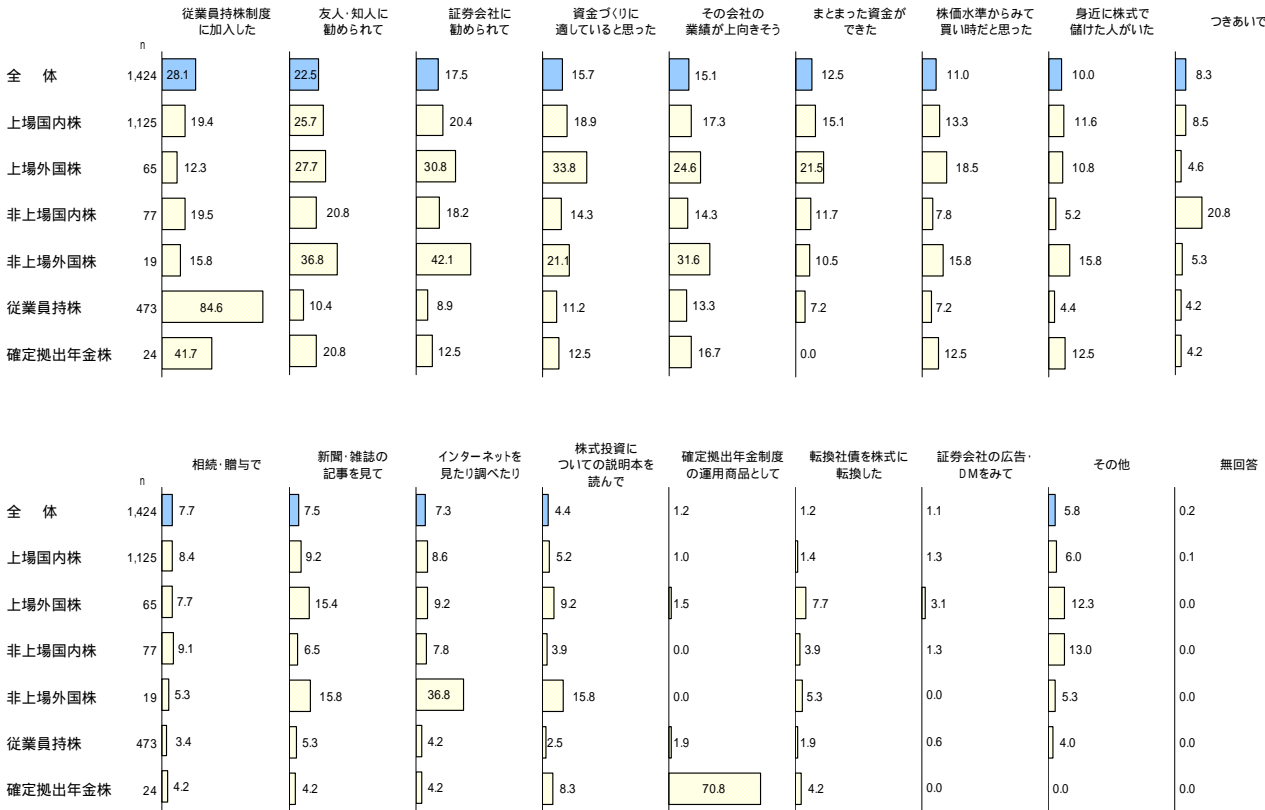
図表 4-10 株式の購入(保有)のきっかけ(複数回答)(問17) / 年収、性・年代別





現在あるいは以前保有の株式種類（問 16-1）との関係を見ると、「従業員持株制度で管理されている株式」の現在あるいは以前保有者の 84.6%は「従業員持株制度に加入した」ことがきっかけとなっている。また、「国内の証券取引所に上場されている外国株」の現在あるいは以前保有者の株式購入（保有）のきっかけとして、「資金づくりに適していると思った」（33.8%）、「証券会社に勧められて」（30.8%）、「その会社の業績が上向きそう」（24.6%）が高い点が目立つ。

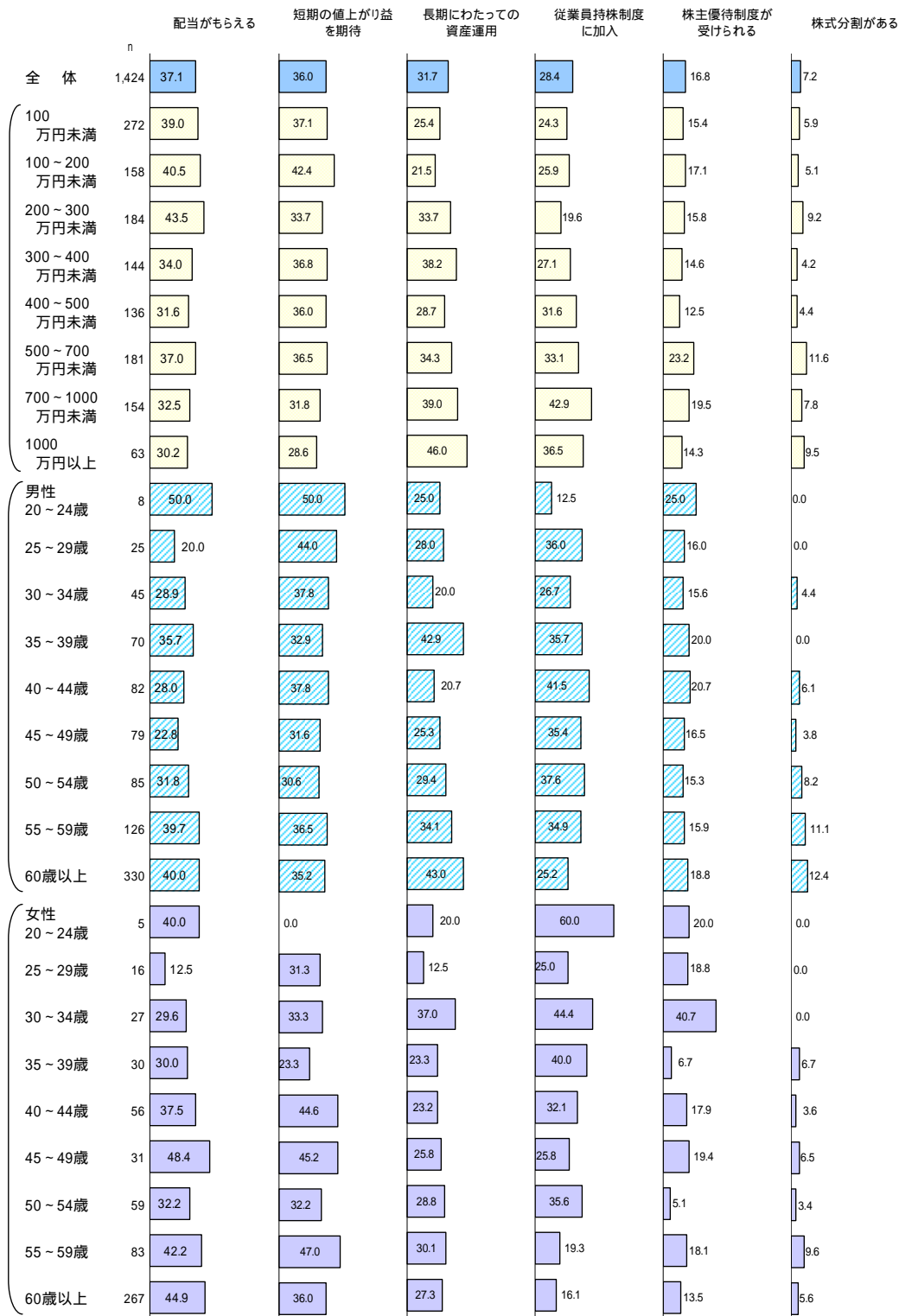
図表 4-11 株式の購入（保有）のきっかけ（複数回答）（問 17）
 / 現在あるいは以前保有の株式種類別（問 16-1）

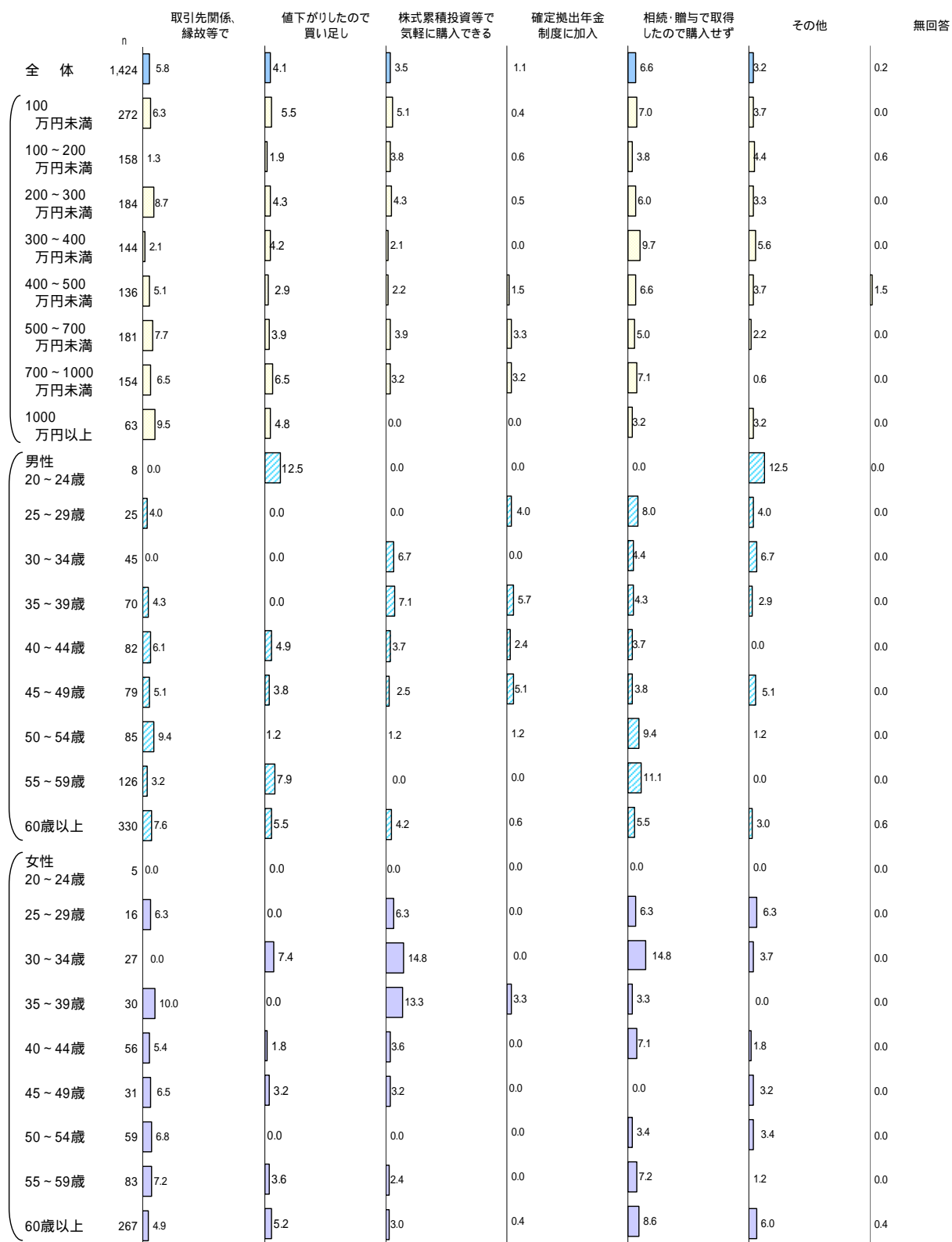


(6) 株式購入時の理由(複数回答)(問18)

株式を購入した時の主な理由を尋ねたところ、「配当がもらえるから」(37.1%)、「短期の値上がり益を期待して」(36.0%)、「長期にわたっての資産運用として」(31.7%)、「従業員持株制度に加入したから」(28.4%)が上位となっている。
 年収別で見ると、「配当がもらえるから」、「短期の値上がり益を期待して」は年収が低いほど若干、高い傾向がみられる。「長期にわたっての資産運用として」は1,000万円以上で46.0%と最も高い。

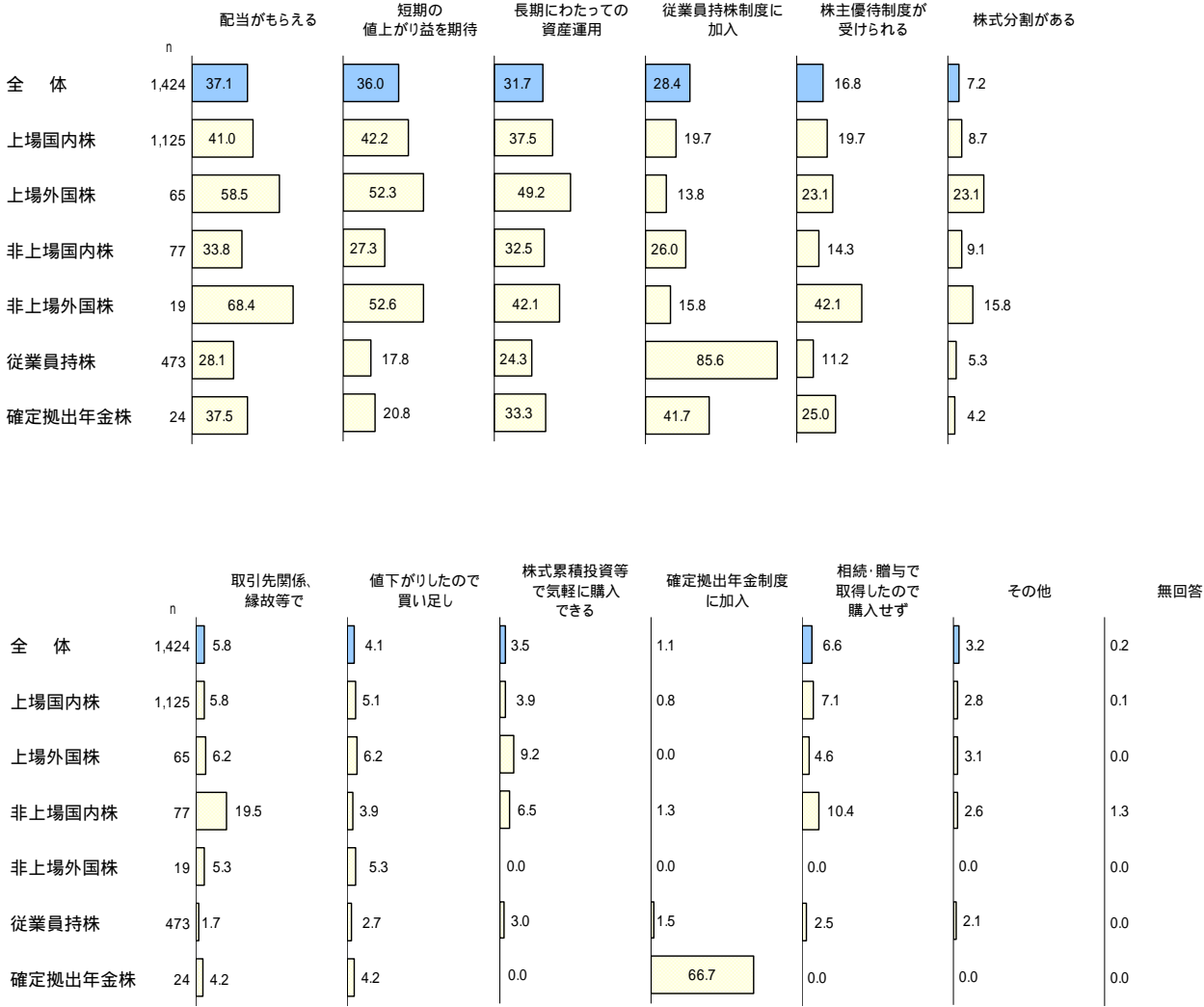
図表 4-12 株式購入時の理由(複数回答)(問18) / 年収、性・年代別





現在あるいは以前保有の株式種類（問 16-1）との関係を見ると、「国内の証券取引所に上場されている外国株」の現在あるいは以前保有者の株式購入時の理由として、「配当がもらえるから」（58.5%）、「短期の値上がり益を期待して」（52.3%）、「長期にわたっての資産運用として」（49.2%）の順に高い。

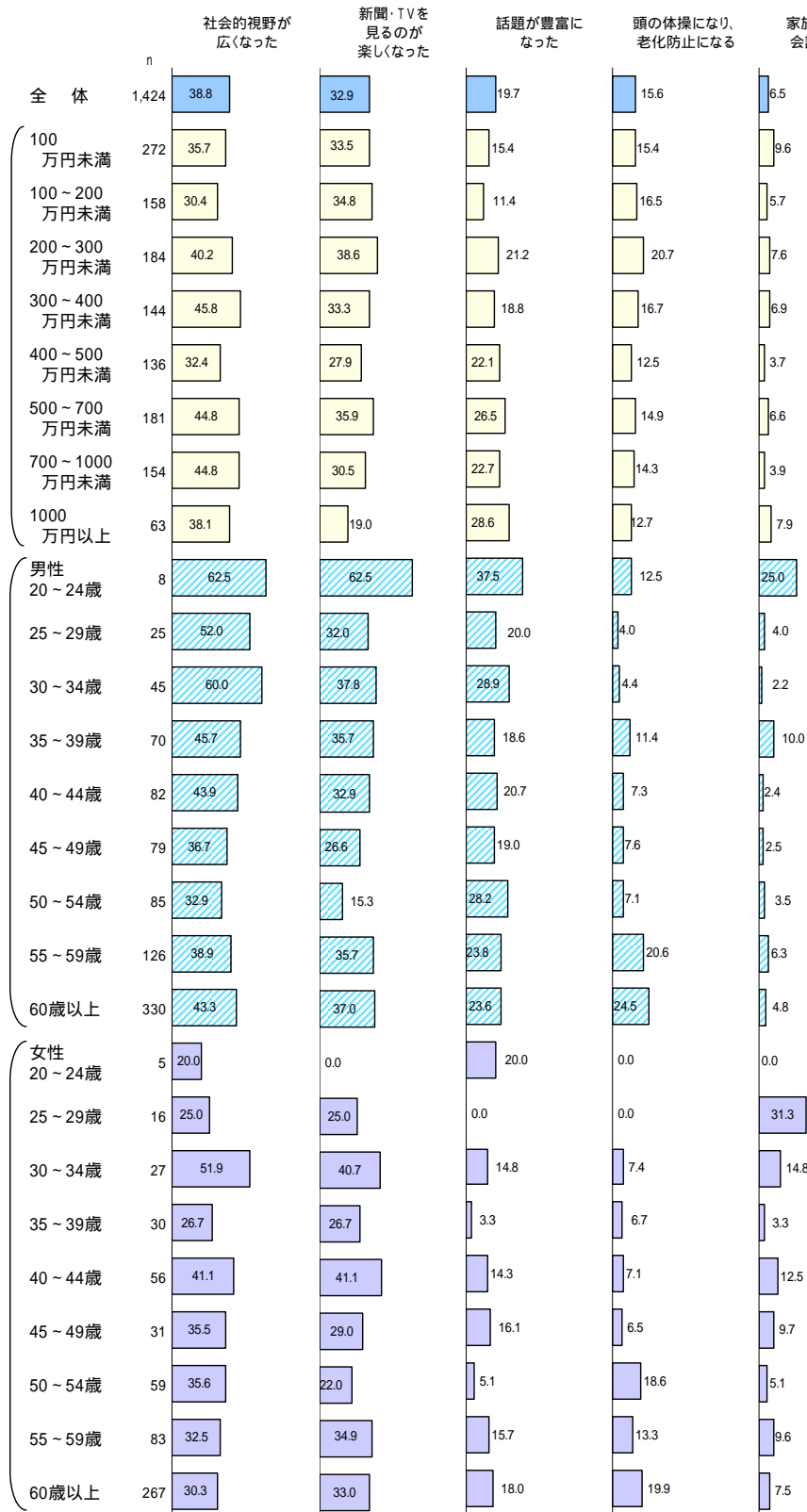
図表 4-13 株式購入時の理由(複数回答)(問 18) / 現在あるいは以前保有の株式種類別(問 16-1)

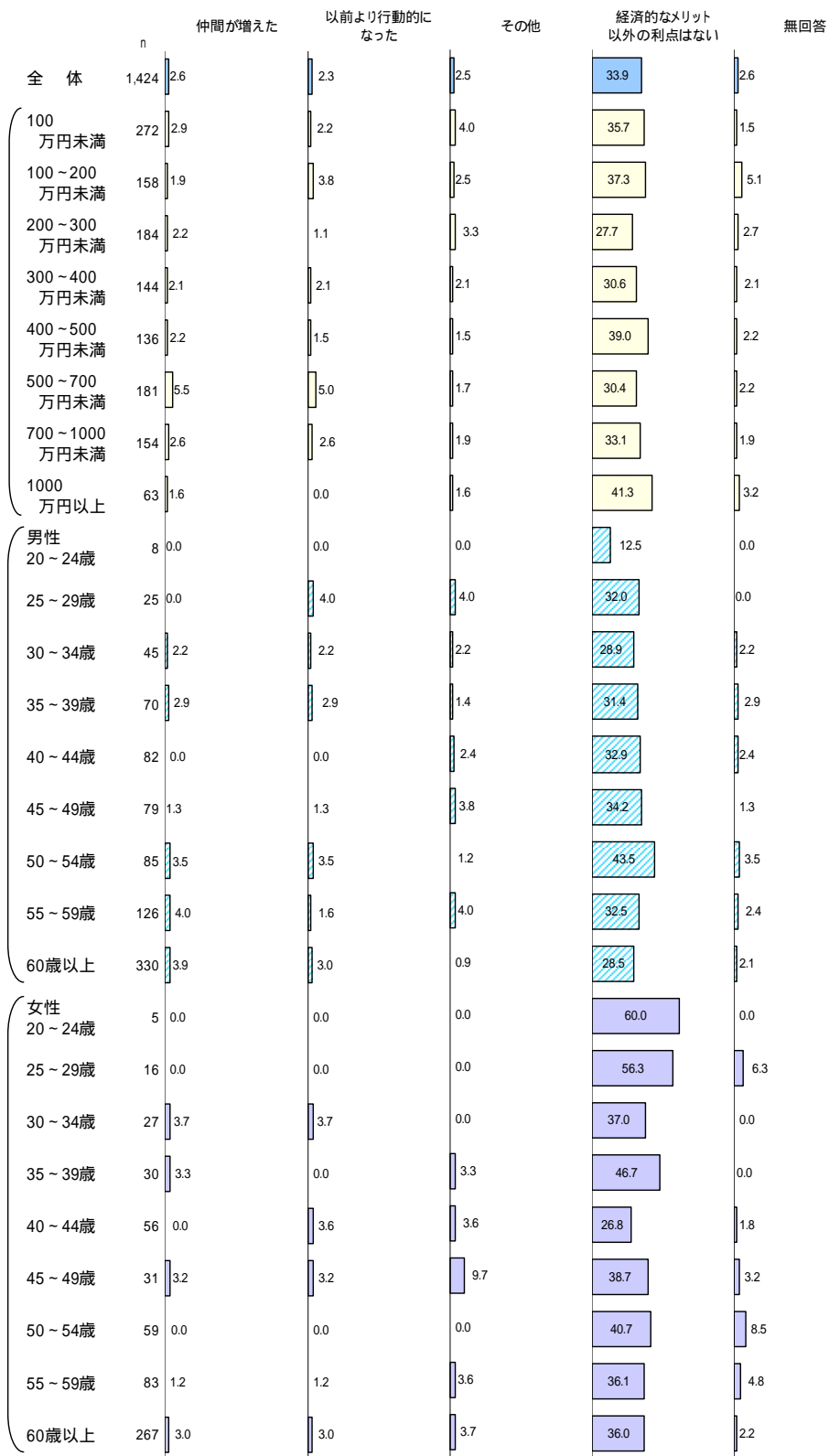


(7) 株式投資をして良かったと感じること(複数回答)(問19)

経済的なメリット以外で株式投資をして良かったと感じることは、「社会的視野が広がった」(38.8%)、「新聞やテレビを見るのが楽しくなった」(32.9%)が挙げられている一方、「経済的なメリット以外に良かったと感じることはない」と答えた人は33.9%である。

図表 4-14 株式投資をして良かったと感じること(複数回答)(問19) / 年収、性・年代別

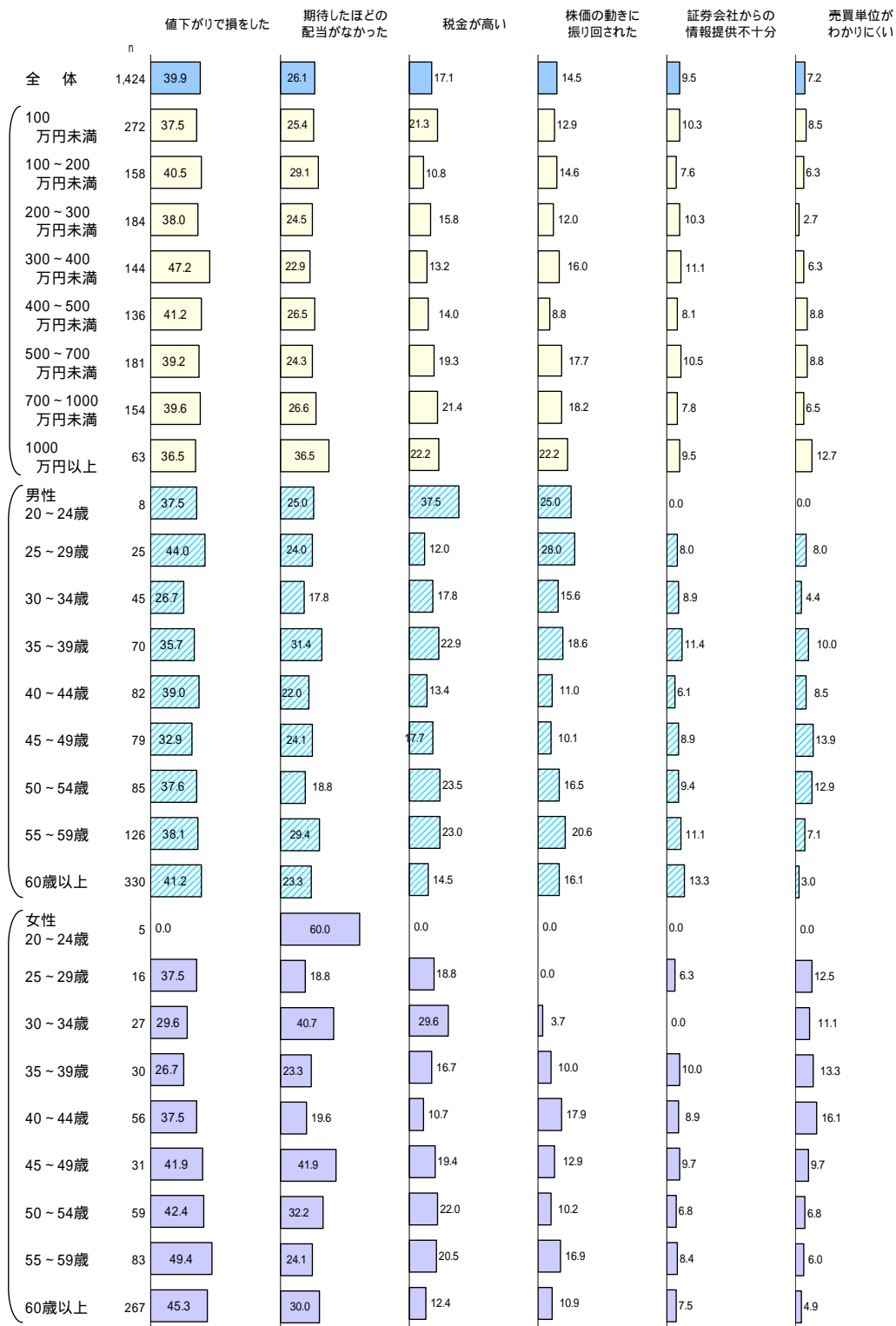


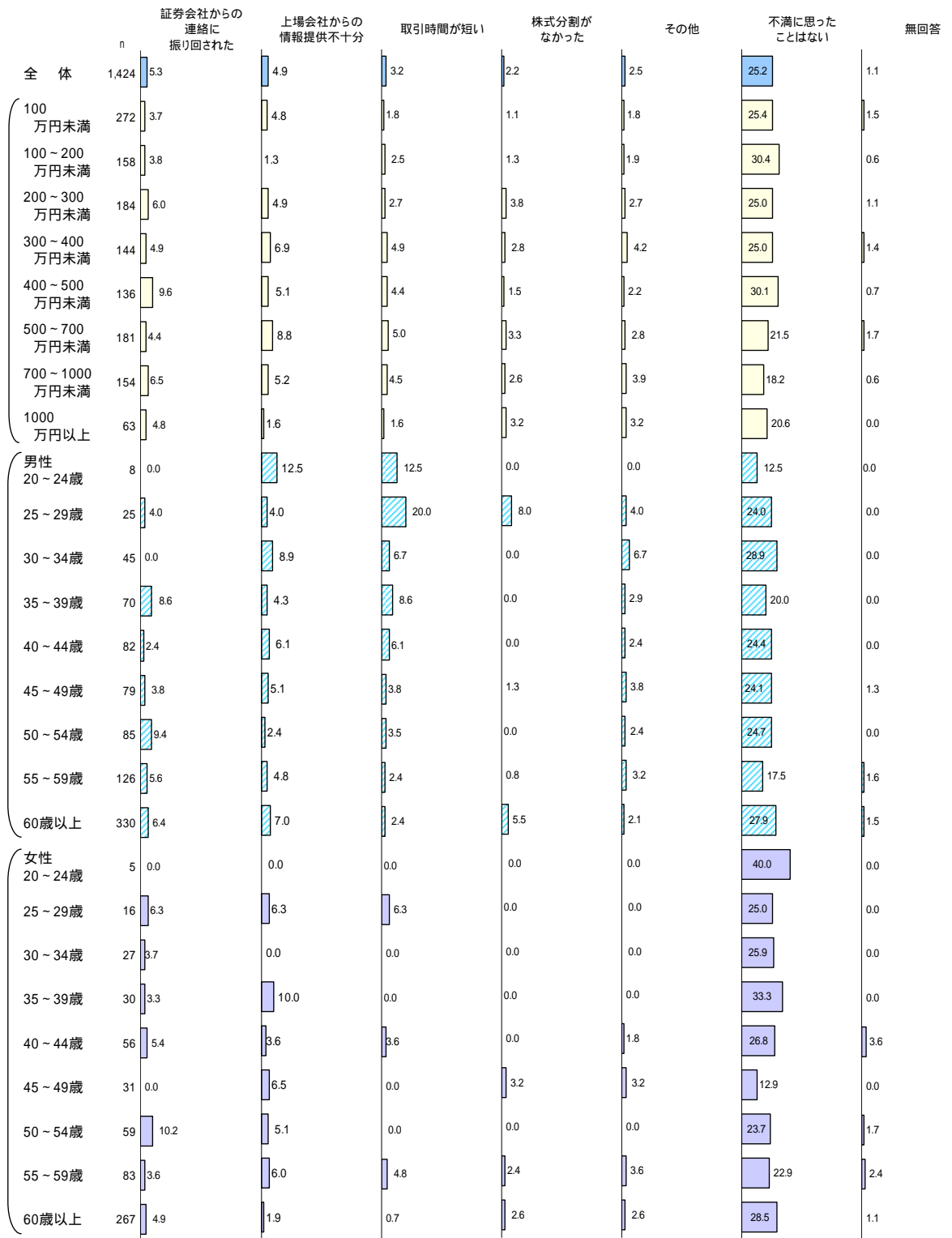


(8) 株式投資の不満点 (複数回答) (問 20)

株式投資の不満点を挙げてもらったところ、「値下がりで損をした」が39.9%と最大の不満点で、以下、「期待したほどの配当がなかった」(26.1%)、「税金が高い」(17.1%)、「株価の動きに振り回された」(14.5%)と続く。「不満に思ったことはない」は25.2%である。

図表 4-15 株式投資の不満点 (複数回答) (問 20) / 年収、性・年代別

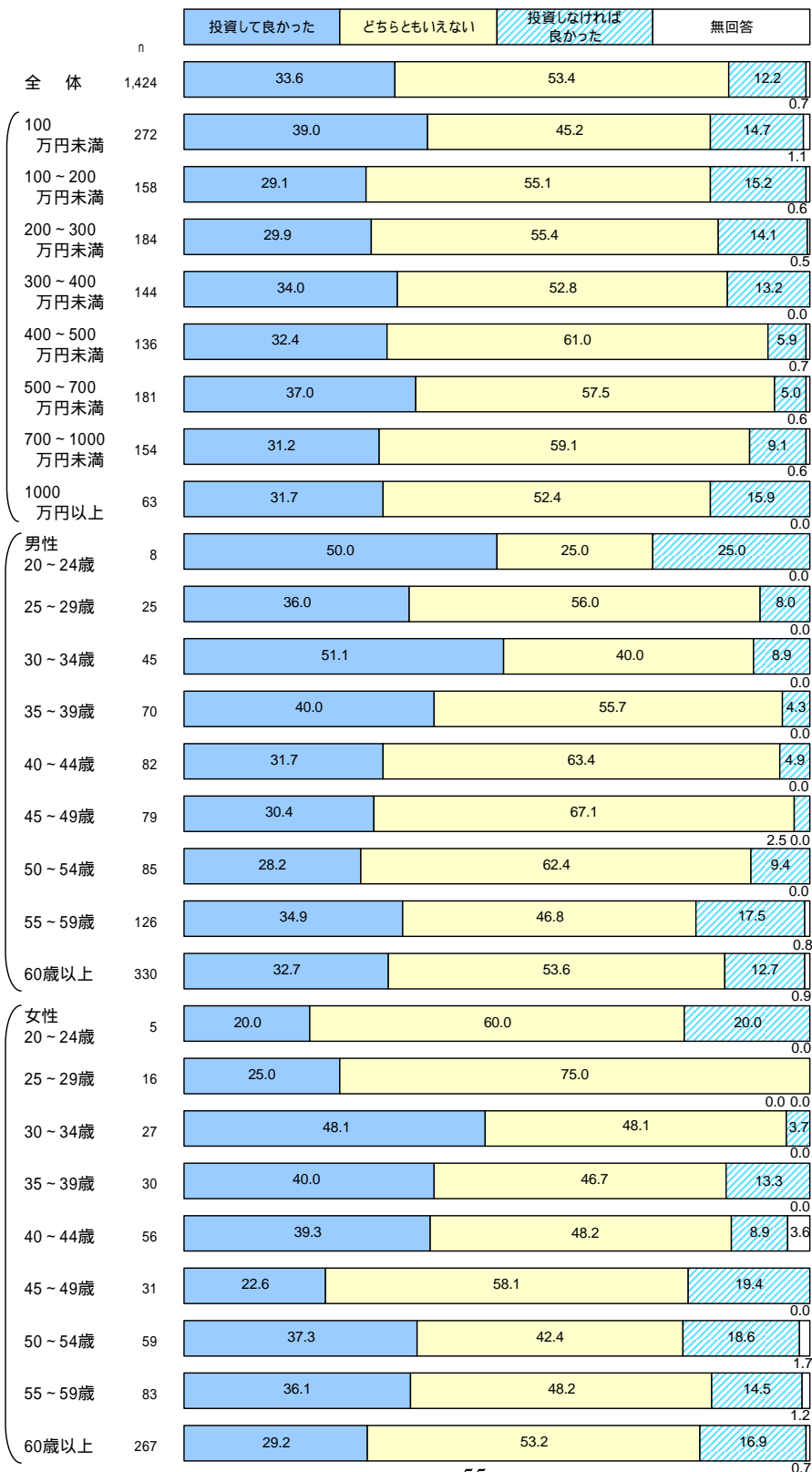




(9) 株式投資の満足度 (問 21)

結果的に株式投資をして良かったと思うか尋ねたところ、「どちらともいえない」が53.4%と半数強を占めているものの、「投資して良かった」は33.6%と3分の1程度で、投資を後悔している「投資しなければ良かった」の12.2%の倍以上となっている。サンプル数は少ないが、男女とも30～34歳で「投資して良かった」割合が5割前後と高い。

図表 4-16 株式投資の満足度 (問 21) / 年収、性・年代別



(10) 株式投資の経験年数(中断時期を除く)(問22)

株式投資の経験年数(中断時期を除く)をみると、「5~10年未満」(21.8%)が最も高い。10年以上の経験者は3割強である。

図表 4-17 株式投資の経験年数(中断時期を除く)(問22)/年収、性・年代別

